

Keio-Formula.Com News Mail !!

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。昨年の年末は設計に追われまくりました。年内最後の活動日の27日も12時近くまでかかり、そこからメンバー全員で忘年会へと繰り出しました。年始は7日から活動を開始し、この日にマイスタークラブの方をお呼びし各班の設計についての相談会を開きました。この様子は後に詳しく説明いたします。一月は秋学期期末試験のためあまり活動はできませんが、二月からいよいよ製作が始まるのでその準備期間としてがんばっていききたいと思います。

今月号のお知らせ

1. マイスタークラブの方との相談会
 2. 各班設計進度報告
-

1. マイスタークラブの方との相談会

1月7日にマイスタークラブの方をお呼びして相談会を開きました。当日は5人ものマイスタークラブの方がご指導してくださり、大変助かりました。主に指摘を受けたところは・・・

- ドライブシャフトの溶接はやめたほうがいい。
(前年に比べカーブがきつくなり、駆動系に負担がかかるから)
- スロットルワイヤーは自作でも大丈夫。
- 燃料タンクの外付けポンプは 80 年のアコードのポンプを使うと良い。
- ブレーキローターを薄く削らずに、パットのほうを削ってはどうか？(ブレーキローターがもたないのでは？)



などこの他にもたくさんのご指導をいただきました。やはり自分達だけで設計したマシンはまだまだ甘いところがあったと感じています。今回設計変更になったところをテスト前までに急いで改善し、二月からは製作に専念できるようにしたいと思っています。マイスタークラブの皆様本当にありがとうございました。

2. 各班設計進度報告

溝口敬悟

担当 サスペンション・ドライブトレイン・ブレーキ・シフト

フレーム・サスペンション・ドライブトレインを担当している溝口です。フレームに関しては、前年度マシンからの燃料タンクの設置場所変更とフレーム構造の簡略化を主な目標として設計を行いました。サスペンションは前後とも非平行不等長ダブルウィッシュボーン式で、ばねを圧縮する方式はプッシュロッド式です。ドライブトレインは等速ジョイントの間をつなぐシャフト以外は先代のものを流用します。人数が少なく、広く浅くしか設計できない現状なので、確実に壊れずに走ることを主体に考えております。次につながるようにデータを沢山取りたいので、なるべく早く製作完了したいです。

関川裕也

担当 エンジン・吸排気・冷却

エンジンが、かからない！！

年末差し迫った、27日に思わぬトラブルが起きました。一旦、マシンから外した電装系をつけなおし、動作確認のためエンジンをかけてみようとしたら、セルは回るのにエンジンが全く動きません。原因と考えられる事柄は、ほぼ調べたのですが、正常に動いており、大会から変更した点も全くないので、なぜかからないのか分からない状況です。期末テスト明けの2月初旬に旧マシンでのテスト走行を予定しており、このままでは走らせることができないので、原因究明を急がなければならぬ状況です。(1月14日現在)

村上隼也

担当 カウル・電装

電装 年内に一度電装をばらし、いろいろと調査し、組みなおしました。その甲斐あって大体配線を理解することができました。しかしながらエンジン班の関川が上で書いているとおりエンジンがかかりません。セルも回り、燃料も行って、スパークプラグの火花も出ているので電装のミスは無いと思うのですが、とても不安です…。カウルは特に進行したところはありません。予定としては二月から設計、三月から製作開始、四月中旬から五月にかけて仕上げ、完成となります。

中村 翼

担当 フレーム・ペダル・インテリア

ペダル '03 車両では「女性が乗れるフォーミュラカー」とするために、ペダルユニット自体を動かし前後調整機能を設けましたが、その調整に手間がかかったり、ワイヤー系の固定に難があったことから、あまり使用されませんでした。しかし、乗る人を選ばないという素晴らしいアイデアは残そうということから、'04 モデルではペダル1つ1つに調整機構を設置したため、これにより細かなセッティングが可能となりました。また、ブレーキでは3倍の倍力によって適正な制動力を、クラッチでは4倍の倍力により10kg程度の踏力と30°のストロークを確保しました。フロントフレームの新設計に伴い、ボルトオン方式で確実に固定することでその強度の向上にも努めています。

今回は内容がとても薄くなってしまうすみません。現在慶応大学はテスト期間中で自分はもういっぱいいっぱいです。次回からはサボらずちゃんと頑張ります。ゴメンなさい。

このメールマガジンに対してのご意見・ご質問だけでなく、マシンのこと・チームのこと・部員のことなど、どんなことでも構いませんので何かございましたらご連絡ください。

Keio-Formula.Com News Mail !! vol.2 2004/1/25 発行

発行: 慶應義塾大学 自動車工学研究会

編集者: 村上隼也

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

URL <http://www.keio-formula.com/>

ご意見・ご質問は the_Italian_job1969@hotmail.com までお寄せください。